

事例を発表

目的：ケアマネジメントプロセスを共に再確認する

個人情報

発表の手順・時間 **20分**

* 振り返りシートを活用して発表してください

1. 事例概要・利用者の主訴（生活課題）など⇒○が困っている
2. 顕在化している課題⇒生活で困っている課題分析やニーズの合意など
3. 潜在化している課題⇒対人援助、2次共感から得られた課題やニーズの合意など
4. 生活ニーズとに関する合意⇒○な生活を送りために○（資源）が必要だ
5. 生活も目標に関する合意⇒居宅サービス計画書（2）～なりたいたい したい
6. 選定したサービス及び選定理由⇒○サービス⇒△解決する為、×が必要

参加者へ
お願い
聴く姿勢

SOLER(ソーラー)理論

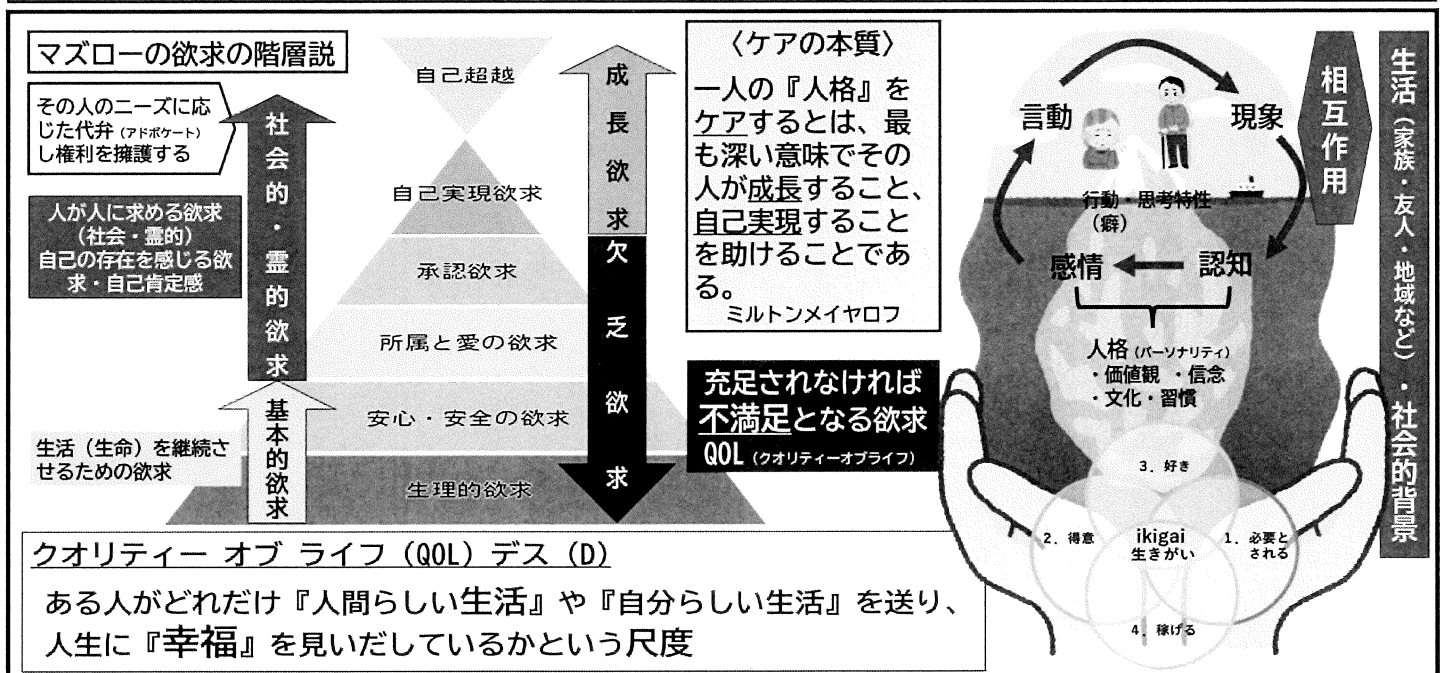
*コミュニケーション理論『私はあなたに
関心をもっています』 Egan,G.(イーガン)

笑顔 うなずき なるほど「受容」

- Squarely: まっすぐ向き合う
- Open : 開いた姿勢で接する
- lean : 相手へ少し身体を傾ける
- Eye : 目線を合わせる
- relaxed : リラックスして傾聴する

* 合意には至らなかったが介護支援専門員として提案した支援策も発表する

『潜在的ニーズ』全人的な視点（権利擁護）



潜在的ニーズの一例

自己超越⇒（例）たとえ自分の身が滅びようともやらなければならないことがある

自己実現⇒（例）他者の為に（貢献）自分にやらなければならないことがある

欠乏欲求 ☞ 成長欲求 ☞

承認⇒自分も認められたい

所属と愛⇒自分の居場所・役割は！自分も誰かの尊い存在でありたい

安心・安全⇒不安・焦り・怒り・抑うつなど軽減したい

生理的⇒食・排泄・睡眠・運動など

質問・意見交換

尊厳・肯定的

20分

目的：多様な意見・多様な価値・多様な支援共有できる

『プロセスを』確認する視点を活用しながらサポータータイプに意見交換してみる

効果的な発言：もし私が担当だったら、〇〇、△△など情報や関連性を吟味『課題分析』すると～なりリスク～な可能性を検討して、××な社会資源（自助・互助・共助・公助）をマッチングをしてみるかも、私の地区には・！

控えるべき発言

主観的な発言を押し付けない⇒～〇〇より△△の支援のほうが適切ではないですか！
否定しない⇒その考えは間違っています！

事例を効果的に共有するための質問方法

理解⇄共感⇄信頼

開かれた質問

「〇〇について、教えてください」

23項目の情報 ICF・MDS・居宅ガイドライン

*事例のすべてを明らかにすることが目的ではない

注意点：集中砲火は避けよう！

自己課題に気づき⇒姿勢や心構えを再確認⇒実践力を向上

なるほど！

👉 チョー大切

「その時にどのように考え、対応されたのですか？」

「その時、〇〇さんはどのように感じましたか？」

「そうなんですね」

「〇な状況で、△と考え、×な対応され、□なお気持ちだったのですね」

閉じられた質問

- ① 分かりやすく、短く
- ② 質問は、ひとつずつ（一問一答）
- ③ 関連する質問を、少しずつ積み重ねて
- ④ 前置きしないで、率直に感想や主観、意見を交えずに！
- ⑤ 質問は明確に（質問攻め・畳み掛け×）
- ⑥ 開かれた質問に心掛ける
「この時は嫌な思いがしましたか？」⇒「この時はどんな気持ちでしたか？」
- ⑦ 流れを生かして質問を工夫する
- ⑧ サポータータイプ（支援的で受容的）な質問
自分の意見や考えの表明、一方的な押し付けをしない

学びの共有

謙虚・主体性

10分



目的：提供者への労い、学びの共有・実践への活用

- ① 事例提供者へ労いの言葉を掛けましょう
- ② 「～なことを学びました」と学びを言語化し発表する
- ③ 実践で活用を具体的に発表する

効果的な発言：〇〇さん、ありがとうございました。この事例の振り返りで△なことを学びました。実践で、◎な工夫をしたいと考えました

控えるべき言動

- ・発言しない 関心がない
- ・批判的態度 もっと～ではないですか？
- ・独壇場 ついつい自分の話「演説？」

*記入にあたり、介護支援専門員実務研修テキスト（上巻）第7-②章アセスメント及びニーズの把握方法：協働作業としてのアセスメントを読みましょう

ケアマネジメント『プロセス』振り返りシート

①主訴(生活課題)*困りごと

例

- ①脳卒中の後遺症で麻痺が残ってしまいトイレに行けなくて困っていると聞き取った
- ②認知機能の低下があつて買い物や金銭管理が出来なくて困っていると聞き取った

②顕在化している問題に対する合意(主訴*困りごとが起きている原因や背景など)

例

- ①トイレの扉が引き戸で、扉を持って後ろに下がれず(原因)行けていないと課題を合意
- ②近所の店まで行くことはできるが「買うものが何だったのか？」記憶していることが難しく(原因)買い物ができないと課題を合意

③潜在化している問題に対する合意(本人・家族自身が実感していないが本来あるであろう問題)

例（記載しにくい項目です。自己の経験や知識を振り返りわかる範囲で記入をお願いします）

- ①出来れば、ひとりでトイレに行けるようになって妻の負担を減らしたいと思ってらっしゃるのではないですか？と提案して合意
- ②まだ、食材の準備位は自分でできると夫に認めてほしいのではないですか？と提案して合意

*専門職として、リスクを予測(夜間の水分控え⇒脱水など)した潜在的ニーズに対する視点
*マズローの欲求の階層説(社会的欲求)や権利擁護など潜在的ニーズに対する視点(多様性)

④生活ニーズに関する合意(〇〇な生活、△△な暮らしを送るためには△△が必要だ！)

例（記載しにくい項目です。自己の経験や知識を振り返りわかる範囲で記入をお願いします）

- ①ひとりでトイレまで移動して排泄をするためには、扉を持って後ろに下がるぐらい運動機能が改善したり、後ろに下がらずとも扉の開閉ができるなどの環境が整ったりすることが必要だと合意
- ②せめて食材の買い物だけでも自分でするためには、物忘れが少しでも良くなるようにしたり忘れた時でも不安にならないように誰かに支えてもらったりする環境などが必要だと合意

⑤目標に関する合意(居宅サービス計画書(1):利用者及び家族の生活に関する意向を踏まえた課題分析の結果)

例

- ①『せめてトイレだけでも自分でできるようになって、これからも自宅で妻と暮らしつづけたい』とお考えなんですね、と合意。課題分析の結果:麻痺があり歩行が不安定で転倒リスクが高い。まずは、生活で最も移動の多い排泄に着目して環境調整や生活機能向上に取り組む必要がある
- ②『不自由はあるけど長く暮らしたこの家でなじみの関係を大切にしながら暮らしつづけたい』とお考えなんですね、と合意。課題分析の結果:娘さんや近所の人たちの支えで何とかひとり暮らしが続けられている。これからはフォーマルサービスでなくなじみの関係を中心に社会との繋がりを維持する

⑥選定したサービス及び選定理由

1.選定したサービス ➡ 2.選定した理由

例

- ①訪問リハビリ
- ①福祉用具購入

②近所の店(インフォーマル)

②認知症対応型通所介護

例

- ①自宅の生活環境で機能訓練を行うことが必要だと判断した
- ①まずは夜間の排泄に対するニーズを満たすために環境調整が必要だと判断した
- ②認知機能の低下した利用者への支援はなじみの関係が重要だと判断した
- ②小規模での日中の介護の提供や生活機能訓練が効果的であると判断した

ケアマネジメント『プロセス』振り返りシート

①主訴(生活課題)

--

②顕在化している問題に対する合意

--

③潜在化している問題に対する合意

--

④生活ニーズに関する合意

--

⑤目標に関する合意(居宅サービス計画書(1):利用者及び家族の生活に関する意向を踏まえた課題分析の結果)

--

⑥選定したサービス及び選定理由

1.選定したサービス	➡	2.選定した理由

ケアマネジメント『プロセス』振り返りシート

①主訴(生活課題)

--

②顕在化している問題に対する合意

--

③潜在化している問題に対する合意

--

④生活ニーズに関する合意

--

⑤目標に関する合意(居宅サービス計画書(1):利用者及び家族の生活に関する意向を踏まえた課題分析の結果)

--

⑥選定したサービス及び選定理由

1.選定したサービス ➡ 2.選定した理由	

ケアマネジメント『プロセス』振り返りシート

①主訴(生活課題)

--

②顕在化している問題に対する合意

--

③潜在化している問題に対する合意

--

④生活ニーズに関する合意

--

⑤目標に関する合意(居宅サービス計画書(1):利用者及び家族の生活に関する意向を踏まえた課題分析の結果)

--

⑥選定したサービス及び選定理由

1.選定したサービス	➡	2.選定した理由

ケアマネジメント『プロセス』振り返りシート

①主訴(生活課題)

--

②顕在化している問題に対する合意

--

③潜在化している問題に対する合意

--

④生活ニーズに関する合意

--

⑤目標に関する合意(居宅サービス計画書(1):利用者及び家族の生活に関する意向を踏まえた課題分析の結果)

--

⑥選定したサービス及び選定理由

1.選定したサービス  2.選定した理由

--	--

ケアマネジメント『プロセス』振り返りシート

①主訴(生活課題)

--

②顕在化している問題に対する合意

--

③潜在化している問題に対する合意

--

④生活ニーズに関する合意

--

⑤目標に関する合意(居宅サービス計画書(1):利用者及び家族の生活に関する意向を踏まえた課題分析の結果)

--

⑥選定したサービス及び選定理由

1.選定したサービス	2.選定した理由